<本当は怖いそのいびき>

眠っている間に息が止まる**睡眠時無呼吸症候群**。

◎　こんな症状ありませんか？

複数当てはまる方は睡眠時無呼吸症候群かもしれません。

大きないびき

熟眠感の欠如

昼間の眠気

起床時の頭痛

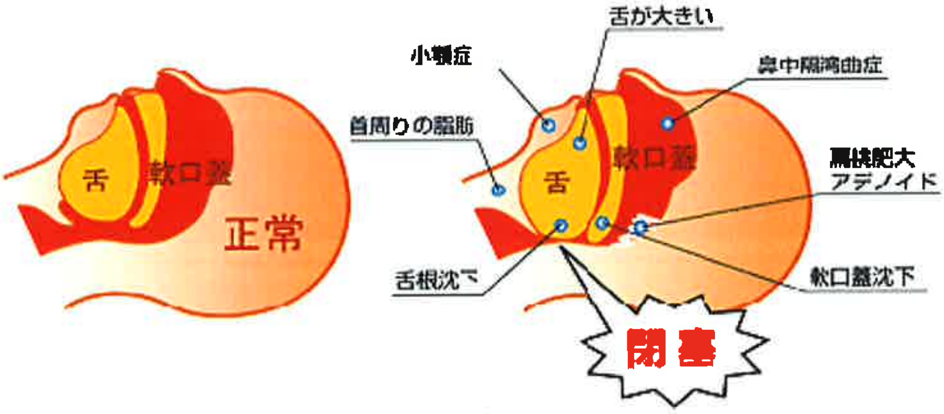
◎　睡眠時無呼吸症候群とは

眠っている間に息が止まる病気です。日中の強度の眠気や起床時の頭痛、熟眠感が得られないなどの自覚症状を伴います。また日中の眠気が原因で重大な交通事故や労災事故の発生が社会問題となっています。

生活習慣病とも密接に関係しており、放置すると**高血圧**、**循環器系疾患**、**脳卒中**などの合併症の発生が高まり、生命の危険を招くこともある大変危険な疾患です。

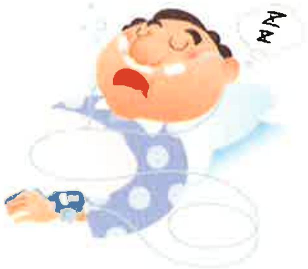
SASは特殊な疾患ではなく、日本では潜在的な患者が約200万人、治療が必要な患者は約30万人と言われております。

また、近年ではサラリーマン男性の5人に1人にSASがあるとの報告もあり、決してまれな疾患ではない事が分かります。



◎　検査について

Step①　:まずはご自宅で簡単な検査



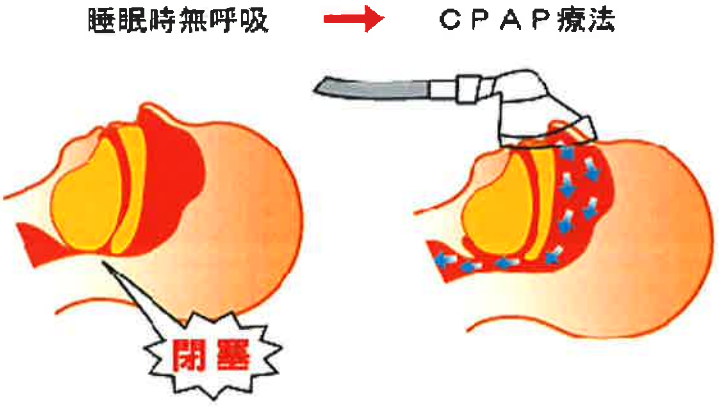
鼻と、指にセンサーをつけて、一晩の呼吸状態を検査します。
後日、外来にて検査結果の説明をします。

Step②　:必要な場合には病院に一泊して精密検査

鼻と、指のセンサーに加え、頭に脳波センサーを付け、夜間の睡眠状態も併せて検査します。
後日、外来にて検査結果の説明をします。

◎　治療について

治療の第一選択としては鼻マスクを介して、空気を送るCPAP療法です。
空気が添え木の役割を果して、気道の閉塞を防ぐ治療法です。



お気軽に外来にご相談下さい。